

返戻等一覧表 確認ポイント

ポイント1 請求データの種別を確認

- 請求明細書(明)が返戻になると、その請求にかかる支払いがされない。

ポイント2 エラーの理由を確認

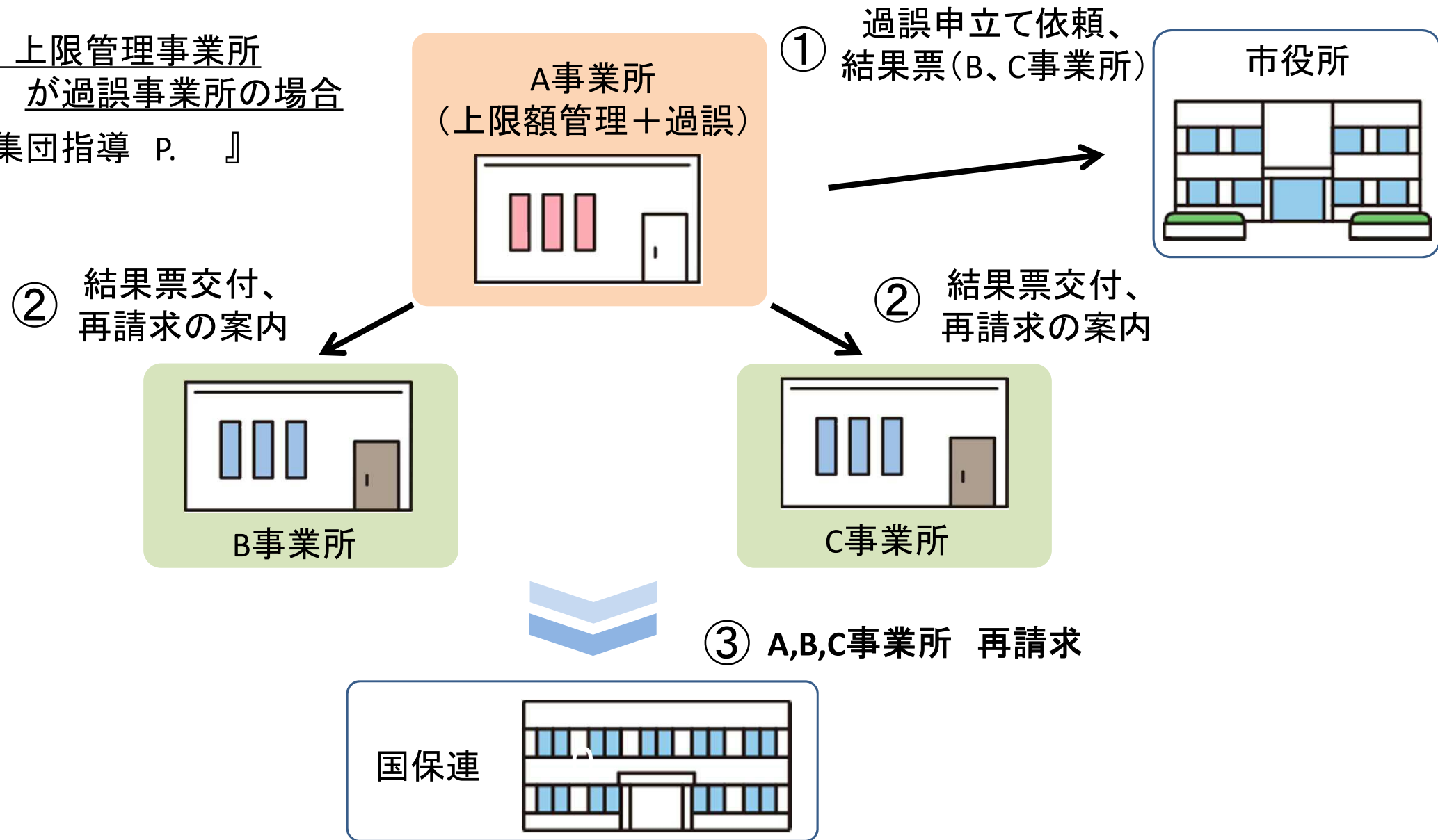
- 返戻事由を確認し、請求データを修正。翌月以降に再請求を行う。

ポイント3 上限額管理結果票の取り扱い

- 利用者負担額が変更になったら上限額管理結果票も修正して送信する。
上限額管理結果票がすでに送信済みの場合は、情報作成区分を「修正」で作成。

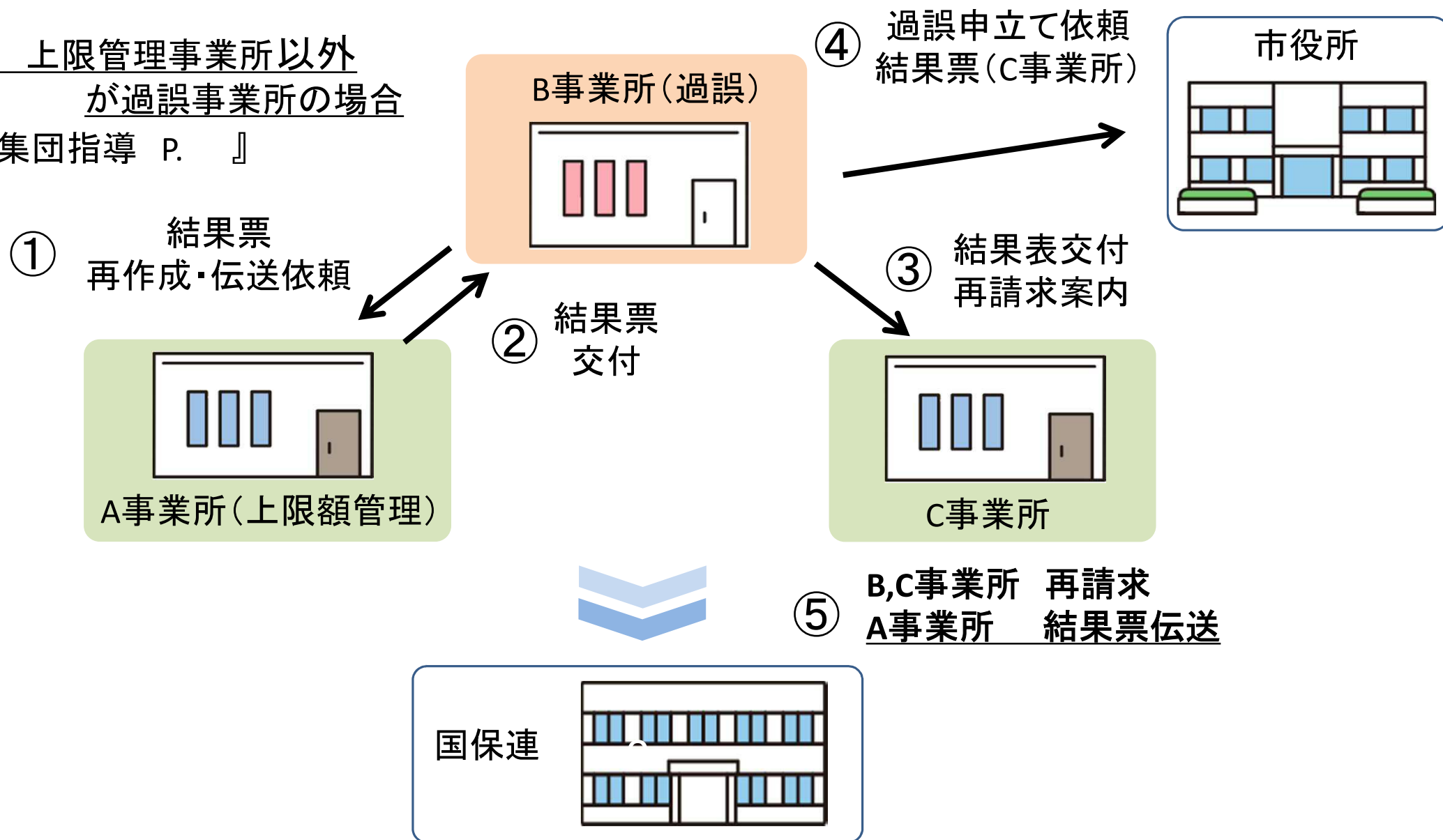
例1 上限管理事業所
が過誤事業所の場合

『* 集団指導 P. 』



例2 上限管理事業所以外
が過誤事業所の場合

『* 集団指導 P. 』



個別支援計画別表 確認ポイント

放課後等デイサービス
* 通常利用: 月曜、木曜、土曜、祝日

個別支援計画別表

利用児氏名	通常の利用計画を具体的に記載する						年	月	日
	月		木		土	日・祝日			
提供時間	利用開始・終了時間		利用開始・終了時間		利用開始・終了時間	利用開始・終了時間			
	15時30分 ~ 17時30分		15時30分 ~ 17時30分		10時00分 ~ 15時00分	10時00分 ~ 15時00分			
	2時00分		2時00分		5時00分	5時00分			
延長支援時間 ※ 延長支援時間は、 支援前・支援後 それぞれ1時間以上か ら	【支援前】延長支援時間	~	【支援前】延長支援時間	~	【支援前】延長支援時間	【支援前】延長支援時間			
	送迎時間は含まない！！								
	【支援後】延長支援時間		【支援後】延長支援時間		【支援後】延長支援時間	【支援後】延長支援時間			
	~		~		15時00分 ~ 16時00分	15時00分 ~ 16時00分			
					1時00分	1時00分			



延長を必要とする理由

- ・保護者の就労、妊娠・出産、病気・負傷、介護・看護、レスパイト等、延長支援を必要とする理由と時間を記載する
- ・学校の都合等で、支援の時間が変更となり延長支援が必要となる場合は、想定される具体的な理由と必要となる時間を記載する。

例) 土曜、祝日については保護者の就労により支援後に1時間の延長支援を行う。



特記事項

- ・通常の利用計画と異なる場合は、具体的な計画時間を記載する。
- ・延長支援を行う場合は、計画時間の前後に延長支援を行う時間（と理由）を具体的に記載する（延長時間については「延長を必要とする理由」欄で別に記載しても可）。

例） 時短授業13:00～17:30（うち、延長支援時間13時から14時半）

- ・記入欄が足りない場合は、さらに別紙（任意様式可）を作成しても差し支えないが、本別表や別紙にも保護者からの署名を得ることが望ましい。

個別支援計画別表 確認ポイント

問4 個別支援計画において支援の提供時間が定められていない場合、どの時間区分で請求することになるか。

(答) 個別支援計画が未作成である場合や、当初利用する予定がなかった日に支援を提供する場合など、**個別支援計画において支援の提供時間が定められていない場合**には、「30分以上1時間30分以下」の時間区分での算定とする。

「令和6年度障害福祉サービス等報酬改定(障害児支援)に関するQ&A(令和6年3月29日)」より



具体的な計画がない場合は、「30分以上1時間30分以下」の時間区分
延長支援を行っている場合でも、延長支援加算の算定不可

欠席時対応加算 確認ポイント

保護者から風邪のため
「木、金、月」
を休むと連絡があった

利用予定日

「休業日」

事業所から保
護者へ連絡

木 金 土 日 月



保護者 → 事業所

電話
内容

連絡調整
及び
相談援助

算 定
可

算 定
不可



事業所 → 保護者

電話
内容

連絡調整
及び
相談援助

算 定
可

家族支援加算 確認ポイント

「個別事項」の注意点

居宅訪問



短時間の相談援助を必要する場合又は家族側の事情の場合に限り、30分未満の相談援助が可能。

ただし、必ず短時間となる理由を記録に残すこと！！

オンライン



テレビ電話装置といった、障害児や保護者の表情が確認できる状態で相談援助を行う。

原則、電話相談は本加算の対象外！！

家族支援加算 確認ポイント

「共通事項」の注意点

支援について



突発的な相談援助は対象外

原則、30分以上の相談援助を行うこと

人員について



サービス提供時間帯においては、基準人員(保育士、児童指導員)以外の職員で対応する

記録について

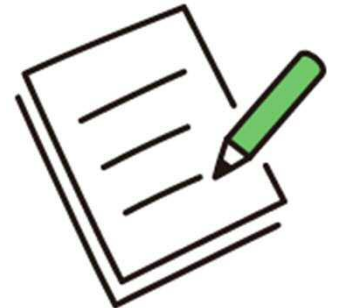


日時(開始時間・終了時間も必須)、実施方法及び相談内容の要点を漏れなく記載する

子育てサポート加算 確認ポイント



**支援場面の観察は
30分以上確保**



支援場面を限定する場合は、その理由等を記録する。



支援にあたる従業員とは別の従業員が相談援助を行う。